

早大-関大-慶大 第5回大学間交流会活動報告

実験教育支援センター
茂木隆太、寺田亮介

実験教育支援センター 兼 中央試験所
近藤善幸

2017.09.01 技術系職員研修発表会

1. 目的など（1/2）

概要

2017年3月2日（木）、3月3日（金）の2日間にかけて、早稲田大学と関西大学の2大学と「**第5回大学間交流会**」を開催した。本交流会は以下の趣旨で実施された。

- 各大学の技術系職員が業務上抱えている事項等について、大学間で情報共有を図る。
- 大学の垣根を越えて、各大学が抱える諸問題についての対策を検討する。
- 交流会の企画・運営および参加は、各大学から選出された職員が研修の一環として行う。
- 本交流会を通して職員の交流を深め、参加大学の教育研究支援機能を相乗的に向上させる。

本報告書では、5回目の開催となった2016年度の交流会における企画・運営担当の活動と、交流会の成果について報告する。

1. 目的など（2/2）

開催日時

2017年03月02日（木） 13:00 ～ 17:00

2017年03月03日（金） 09:00 ～ 15:00

開催場所

慶應義塾大学矢上キャンパス

参考：過去の開催場所

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
早稲田大学	慶應義塾大学	早稲田大学	関西大学	慶應義塾大学

2. 当日の参加者

早稲田大学

高橋宣之（企画・運営担当）

尾崎太一（企画・運営担当、2日目のみ参加）

三浦克吉（企画・運営担当）

松尾亜弓（環境保全センター事務長 [1日目のみ参加]）

山田恭平（教育研究支援課（一系）化学基礎実験室）

田辺茂雄（教育研究支援課（二系）材料実験室）

西 佑起（教育研究支援課（一系）物理基礎実験室 [2日目のみ参加]）

蓮村 崇（教育研究支援課（二系）材料実験室 [2日目のみ参加]）

各務彰紘（教育研究支援課（二系）熱工学・流体・制御工学実験室 [2日目のみ参加]）

田中悠輔（教育研究支援課（二系）工作実験 [2日目のみ参加]）

嶋村貴志（技術企画総務課課長 [1日目のみ参加、オブザーバ]）

小林良暢（教育研究支援課（三系）課長 [2日目のみ参加、オブザーバ]）

関西大学

大黒聡士（企画・運営担当）

堂本涼介（企画・運営担当）

松本有司（授業支援グループ テクノサポートチーム 機械系）

慶應義塾大学

茂木隆太（企画・運営担当）

近藤善幸（企画・運営担当）

寺田亮介（企画・運営担当）

大岩久峰（実験教育支援センター 機械系共通実験室担当兼 中央試験所）

須賀一民（実験教育支援センター 電気系共通・物理・物理情報実験室担）

渡邊和憲（実験教育支援センター 機械系共通実験室担当兼 中央試験所）

三谷智明（実験教育支援センター課長 兼 中央試験所事務主任 [オブザーバ]）

※太字は企画・運営担当者

3. プログラム

日程	時間		企画名	備考
3月2日	13:00	～ 13:05	1日目 開会	矢上キャンパス34棟4階417室 管理工学科IE実験室集合
	13:05	～ 13:50	自己紹介	各大学のニュース報告を含む
	13:50	～ 14:00		休憩
	14:00	～ 17:00	質問コーナー	事前に共有された質問にプレゼン形式で 各大学が回答する企画
	17:00	～	1日目 閉会	
	17:45	～	懇親会	
3月3日	09:00	～	2日目 開会	矢上キャンパス34棟4階417室 管理工学科IE実験室集合
	09:00	～ 12:15	実験実習コーナー・キャンパスツアー	5軸複合加工機講習（マニファクチュ アリングセンター）
	12:15	～ 13:15		昼食
	13:15	～ 13:45	実験実習コーナーのフィードバック	フリーディスカッション
	13:45	～ 14:45	今後についてフリーディスカッション	フリーディスカッション
	14:45	～ 15:00	総括・閉会	

4. メイン企画1：質問コーナー（1/2）

概要・当日の内容

事前に各大学から提出された「**他大学に聞いてみたい質問**」に対し、他大学がプレゼンテーション形式で回答をする企画を行った。質問のタイトルを下記に示す。各回答の後には、ディスカッションの時間を取り、質問および回答に対しての議論が行われた。

早稲田大学

- 危険物保有量削減の取り組みについて
- 実験・実習でのアナログ資料（紙媒体）からITツールの置き換えについて

関西大学

- 薬品に関するリスクアセスメントについて
- 薬品以外に関するリスクアセスメントについて

慶應義塾大学

- 技術職員の技術向上のための研修等制度について
- 特化則の改正に伴う学生実験室の対応について



4. メイン企画1：質問コーナー（2/2）

成果報告・所感

当日の「質問コーナー」では、時間の制約から、深い議論まで落とし込むことが叶わなかったテーマも少なからずあった。しかし、本コーナーをきっかけとして、参加者同士で面識を得て交流が深まり、今後の業務上で気兼ねなく相談しあえる関係を築くことはできたと考える。その意味ではとても成功した企画であったと考える。

また、本コーナーにおける本学にとっての内容的な成果としては、特に2016年度より技術職員が業務を請け負うことになった環境・安全・衛生関連の業務（具体的には、化学物質のリスクアセスメントや特定管理物質の作業記録）について、他大学の現状と考え方を学べたことであり、今後の業務展開に向けてとても参考となった。



5. メイン企画2：体験実習コーナー / フィードバック

概要・当日の内容

本学技術職員（機械系共通実験室担当）が指導を担当している機械工学科学部3年の実習「**プロダクションエンジニアリング**」の一部を、早稲田大学、関西大学の参加者に実際に体験してもらう企画を行った。その後、この実習に対して、より理解度をあげるための提言や、実習手順についての改善点など、意見交換を行った。意見交換では、様々な意見や指摘が飛び交い、実習手順の改善方法などが提案された。また、他大学での工作機器の実習のやり方の解説・紹介なども行われた。



成果報告・所感

「体験実習コーナー」では、参加者同士と一緒に実習を体験することで、討論形式の交流会とは違った一体感を得られ、より深い交流ができたと考える。また、我々技術職員は、普段その指導内容や手順について、同業者から客観的意見を受ける機会がないため、本コーナーは、今後の学生実習への大きな参考となった。



6. メイン企画3：今後についてのフリーディスカッション

概要・当日の内容

「大学間交流会の今後について」というテーマで、**フリーディスカッション**を行った。ディスカッションの中では、今回の交流会の感想や反省、交流会の目的の再確認、来年以降の企画、慶應・早稲田・関大以外の参加大学について、など、さまざまな内容が話題にあがった。

成果報告・所感

このディスカッションの内容は、今後の交流会の方向性を具体的に決定するというものではなかったが、オブザーバとして参加された管理職の方々を含め、企画・運営担当者、参加者の全員でディスカッションできたことは、大変意義のあるものであった。

本コーナーの意見としてもあがったが、交流会の本当の目的を見失って「企画」のための交流会とならないように、今後も注意していかなければならないと考える。



7. まとめ

- 早稲田大学および関西大学の技術職員との**2016年度大学間交流会**の企画・運営を、茂木・近藤・寺田の3名で行った。
- 開催場所は矢上キャンパス、開催期間は2日間、参加者は企画・運営担当を含め、延べ22名であった。
- 当日のメインの企画は、「質問コーナー」、「体験学習コーナー」、「**今後についてのフリーディスカッション**」とした。
- 本交流会を通じて、早稲田大学および関西大学との交流をより深めるとともに、我々が抱える諸問題についての対策を検討するうえで非常に有益な情報を得ることができた。